

映画「NAGASHIMA～“かくり”の証言～」上映会 参加者を募集します

西大寺公民館では、多くの人にハンセン病とその差別問題に関心を持ち、正しい理解を深めていただくために、ハンセン病ドキュメンタリー映画「NAGASHIMA～“かくり”の証言～」上映会の参加者を募集します。

1 日時

令和5年11月25日(土)13時30分～16時
(13時開場、13時30分開始 宮崎賢監督の挨拶の後上映)

2 場所

岡山市立西大寺公民館 大ホール(東区向州)

3 内容

「カメラに向けては話ができない」「家族が差別され迷惑がかかる」と証言を拒んできた元ハンセン病患者の方々が、この映画の監督である宮崎さんが長島愛生園に30年以上通う中で、「残りわずかな人生、若い人たちに強制隔離の体験を伝えておきたい」と、自らの殻を破り、勇気を出してカメラの前で語ったことでできた映画です。

宮崎監督のお話と映画を鑑賞し、ハンセン病の患者の方々がどういう思いで施設暮らしをせざるを得なかったのか、また入所していることすら隠さなければならなかった社会の偏見や差別の実態を学び、自らの意識を見直すことによって、互いの人権が守られる共生のまちづくりへの一歩にしたいと考えています。

詳細は別紙チラシにてご確認ください。

この映画についての詳細は、サイトをご参照ください。



4 その他

参加協力券(チケット)は、大人1,200円、中高校生800円、障害者・付添人500円で、西大寺公民館で扱っています。席は800席あります。

【問い合わせ先】

岡山市立西大寺公民館 内田・村田 直通086-942-6252

ハンセン病ドキュメンタリー映画

NAGASHIMA

～“かくり”の証言～ 上映会

宮崎 賢 監督作品

「ひらかなで、“かくり”と書いて背中に貼って歩いてきた人生でした」。国立療養所長島愛生園で暮らす95歳のハンセン病元患者の証言です。小学5年生、12歳で強制隔離され“隔離”という漢字は習っていません。隔離されて83年「長島だけの人生」という静かな叫びが胸を打ちます。

映画『NAGASHIMA～“かくりの証言”～』は、長島に強制隔離された「名もなき人たち」に焦点をあてています。

これまで「カメラに向けては話が出来ない」「家族が差別され迷惑をかける」と証言を拒んできた人たち。インタビューに応じてもらうまで30年近くかかっています。「残りわずかな人生、若い人たちに強制隔離の体験を伝えておきたい」と、自らの殻を破り、勇気を出してカメラの前で語りました。



日時 11月25日 (土)

13:00 開場

13:30 宮崎監督あいさつ

映画上映

16:00 終了予定



会場 西大寺公民館
大ホール

参加協力券 (チケット)

西大寺公民館の事務所にあります。実行委員もチケットを持っています。左下の金額と引換えでお渡しします。

この映画についての情報



参加協力費

大人1,200円、中学・高校生800円
障がい者と付添人500円

当日券もあります。
チケットなしでも
おいでください。

主 岡山市立西大寺公民館
催 NAGASHIMA 上映実行委員会

問 TEL 086-942-6252
合 Mail: saidaijikouminkan@city.okayama.lg.jp
せ